

# 理学療法士会

## 広報誌



### 目次

#### ご挨拶

山形県理学療法士会会長 高橋 俊章……………2

東日本大震災における  
本土会の災害支援  
ボランティア活動……………3

第21回 山形県理学療法  
学術大会について……………4

#### 施設紹介

- 独立行政法人  
国立病院機構米沢病院……………5
- 介護老人保健施設 舟形徳州苑……………5
- 介護老人保健施設 みずばしょう……………6
- 山形ロイヤル病院……………6

#### 学校紹介

- 公立大学法人  
山形県立保健医療大学……………7
- 学校法人 諏訪学園  
山形医療技術専門学校……………7



## ご挨拶

山形県理学療法士会会長  
高橋 俊章

平素は、山形県理学療法士会へのご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

山形県理学療法士会は、山形県内に勤務する理学療法士の学術技能の研鑽と資質の向上に努めるとともに、県民の皆様の保健・医療・福祉の発展に寄与することを目的として、公益性のある社会的活動や学術的活動を行なっている団体です。

1965年に理学療法士及び作業療法士法が公布され、当会はその3年後の1968年から地道な活動を続けることで県民の皆様の健康と福祉の向上に寄与することに努力してまいりました。1993年に法人化により新たなスタートを切り、現在、病院・介護保険施設・福祉・教育のそれぞれの領域の140施設において582名の会員が日々活動を行なっています。

理学療法士の業務は「身体に障がいのある方に対して、生活の維持向上のために主として基本的動作能力の回復を図る」ことです。基本的動作能力とは寝返る・起き上がる・立ち上がる・立位を保つ・歩く等のことを指し、私たちはこれらに対して専門職として絶対的な責任を果たしていると考えています。これらを理学療法士の業務の核として、業務の範囲は脳卒中の後遺症や骨・関節の病気に苦しむ患者様へ加え、心

疾患リハビリテーションおよび呼吸器リハビリテーション、がんのリハビリテーション等に活動を広げています。

また、高齢社会の進展に伴い、生活や運動が不活発な状況から心身の機能が低下して動けなくなる「生活不活発病」の増加が危惧されています。毎日の生活の工夫や運動の努力によって、機能低下は最小限にとどめることは可能です。理学療法士は生活不活発病に対応し、活力のある高齢社会を創るために活動しています。

このように、理学療法士は保健・医療・福祉のそれぞれの領域において必要な職種であることを皆様にご理解していただければ幸甚に存じます。

会員一同、これからも理学療法を通じ社会に貢献できるよう努力を重ねてまいります。また、広報誌を通して、皆様へ様々な情報をご提供させていただくとともに、より多くの方々からご意見をいただきながら、地域に根ざした活動を展開していきたいと考えております。今後とも県民の皆様はじめ関係団体の皆様のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

◆山形県厚生省労働省指定◆  
**W (有) 渡部義肢**

◆営業品目◆  
義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号  
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

山形県各福祉事務所指定  
義肢・補装具・コルセット・車椅子一般・その他

**有限会社 田中義肢装具製作所**

山形市あかねヶ丘1丁目3-15(山商体育館西側)  
TEL(代表)645-4600  
FAX645-5424

# 東日本大震災における本土会の災害支援ボランティア活動

この度の震災における山形県理学療法士会の災害支援ボランティア活動を紹介します。  
山形県理学療法士会は2度にわたり、7ヶ月間に及ぶ支援活動を行ないました。

## 第1弾

平成23年4月2日から山形県内に避難された方々への支援を行ないました。これは県内の避難所において、山形県作業療法士会・山形県言語聴覚士会と共同で、生活不活発病の予防・啓発、エコノミー症候群の予防、住環境の整備、動作指導、運動指導を行ないました。



山形市総合スポーツセンターにて



上山市文化体育センターにて

### ● 生活不活発病とは：

避難所では動く機会や果たす役割を失います。その結果、生活動作がままなくなり、活動する範囲が狭まる状態です。特に高齢者では、筋力の低下、うつ状態、知的活動の低下、めまい・立ちくらみが起こりやすくなります。

- ボランティア登録会員数：115名
  - ボランティア実施回数：32回
    - 村山地区：28回
      - 山形市スポーツセンターで12回、県体育館で1回、天童スポーツセンター及びホテル王将で10回、上山市体育文化センターで5回
    - 置賜地区：米沢市営体育館で2回
    - 庄内地区：酒田市営親子スポーツ会館で1回
    - 最上地区：新庄市スポーツセンター合宿所で1回
  - ボランティア参加会員数：60名
- 6月30日をもって、県内の一次避難所が閉鎖されたのに伴い活動も終了となりました。

## 第2弾

平成23年8月末から平成24年1月まで宮城県石巻市に災害支援ボランティアを派遣しました。参加人数は36名です。

### ① 石巻市渡波地区（牡鹿半島とその付け根の地域です）における支援活動

具体的には、リハビリサービスの必要な方の自宅に訪問し、お話を聞き、運動の指導や環境整備をしました。また、地域のデイサービスの手伝いや避難所を回って生活不活発病の予防活動を行ないました。参加会員は7名

### ② 石巻市内の仮設住宅におけるDVT検診への支援活動

石巻市の医師・看護師・ボランティア、宮城県内の理学療法士らで行っているDVT予防のための活動「ゆいっこプロジェクト」に参加協力しました。参加会員は29名

### ● DVT(深部静脈血栓性)とは：

いわゆるエコノミー症候群です。長時間足を動かさないと血行不良を起こし血液が固まりやすくなります。その結果、血栓ができ、脳梗塞・肺塞栓症を誘発する恐れがあります。



石巻市内の仮設住宅での活動



# 第21回 山形県理学療法学会大会

公開  
講座

テーマ：

## 「風呂と未病とCO<sub>2</sub>」

日時：平成24年

**6月10日(日)**

**13:00~14:30**

場 所：伝国の杜 置賜文化ホール(米沢市)  
対象者：県内理学療法士及び一般市民(無料)



講 師：公立高島病院 副院長 大木 宏氏  
座 長：縮井 純一(公立高島病院)

正直、今年の豪雪には本当に参りました。寒さの厳しい毎日でしたから、当然の如く「今夜も風呂の温度を上げて温まろう！」だったことでしょう。実は、そこに『どふら』たる落とし穴とも言うべき大きな問題点がひそんでいることに気付いた方は居られたでしょうか？

東京消防庁の過去の調査にて、『風呂の事故死が交通事故死の数倍に匹敵する』事が判明しております。さらに付加えますと、「入浴中の事故死」に言及すれば、何と日本はダントツの世界一位の国との事。年2回の行事、恒例の交通安全週間は誰しもが周知のことですが、今まで『お風呂の安全週間』などとは一度も聞いたことがありません。

さて、皆さんはこれらの事実をどう思われますか？お風呂のどんなところに着目すれば良いのか、その大事なポイントとは何でしょう？「常識が非常識？」

来る6月10日は、「風呂と未病とCO<sub>2</sub>」と題してお話いたします。

それでは、講演会でお会いできることを楽しみにしております。

**LCS**

オーダーメイドの福祉用具  
株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10  
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

思いやりリハビリ・まごころケア

**(有) 福祉用品やまがた**

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40  
電 話 (0234) **26-1725**  
F A X (0234) **26-6780**



# 施設紹介

## 独立行政法人 国立病院機構米沢病院

こんにちは。米沢の吾妻山の麓にあります「独立行政法人国立病院機構米沢病院」です。当院は昭和26年に国立米沢療養所として創立し、平成24年に60周年を迎えます。

病床数は一般病棟100床、重症心身障がい児病棟120床の計220床を有しています。

当院の特色として、神経筋疾患、小児慢性疾患および長寿医療、骨運動器疾患、脊髄損傷、重症心身障がいに対する医療、リハビリテーション医療を行っています。また、院内の取り組みとして、呼吸リハプロジェクト、摂食嚥下プロジェクトを設立しチーム医療として取り組んでいるところです。

当院のリハスタッフは、理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、マッサージ師2名で各療法士が協力し、他職種との連携を図りながら「患者さまに信頼される確かな医療」「患者さまが希望をもてる医療」「患者さまの身体的・精神的負担の軽減を目指す確かな医療」という診療方針のもと、質の高い医療を提供できるよう努力しています。



## 介護老人保健施設 舟形德州苑

当施設は最上郡舟形町ののどかな田園の中に位置し、入所定員は一般棟と認知症専門棟それぞれ50名の合わせて100名、通所リハビリは1日約30名の利用者様がおられます。現在リハビリスタッフは、作業療法士3名、理学療法士1名で業務を分担し、私は主に一般棟の利用者様を担当しています。リハビリでは

利用者様の身体機能

生活活動能力の維持・向上を目的とした関節可動域訓練や筋力訓練、歩行訓練等を利用者様の状態に合わせて個別または集団で実施します。また当施設では、介護予防サービスの地域支援事業として、地元の舟形町の要支援・要介護になるおそれのある高齢者を対象とした転倒・骨折予防プログラムにも協力しています。



## 施設紹介

### 介護老人保健施設 みずばしょう

当施設は鶴岡地区医師会運営のもと、羽黒町に開設され今年で7年目を迎えます。

入所・短期入所・通所サービスを実施しており、入所100床（全室個室）デイケア40名程度となっております。リハスタッフは理学療法士3名作業療法士4名の計7名です。

自宅退所にむけた関わりはもちろんのこと、最近では看取



りなど幅広い対応が求められています。リハ以外のスタッフとも、職種を超えてとても仲が良く、情報共有を密にし、生活に根ざしたリハビリ・質の高いサービスを提供できるようチームで努力しています。

当施設の特徴の一つに夏祭りがあります。スタッフ一丸となり、とても力を入れており、毎年沢山の地域の方々が参加され大盛況です。特にクライマックスの「みずばしょう大花火」は、赤川花火に負けるとも劣らない仕上がりです。ぜひ皆様一度いらしてみてください。



### 山形ロイヤル病院

当院は、さくらんぼ東根駅から徒歩5分の東根市の中心に位置しており、市内からはもちろん隣接する市町村からも、多くの患者様が来院されています。病床数は322を有し、主に中枢疾患や整形疾患、内部疾患に伴う廃用症候群の患者様を対象に、理学療法士（12名）、作業療法士（8名）、言語聴覚士（4名）の各療法士が協力し、在宅復帰・施設退院に向けたADL獲得のため支援させて頂いております。入院以外でも、通所リハ・訪問リハ・外来リハにも対応し、より地域に根ざした病院づくりを目指しています。また先日は冬期間、運動不足や外出機会が減少しがちな地域の高齢者を対象とした健康セミナーを開催し、参加された多くの方々から「杖が要らなくなった」、「是非またやってほしい」との感想をいただきました。

今後もスタッフ一同、力を合わせ患者様、利用者様の回復や療養、またご家族様のお力になれるよう日々頑張っていく予定です。





## 公立大学法人 山形県立保健医療大学

本学は、理学療法学科、作業療法学科、看護学科の3学科からなる保健医療学部を擁し、平成12年4月に開学致しました。平成16年4月からは、3分野（理学療法、作業療法、看護）の修士課程、保健医療学研究科を専攻する大学院を開設しております。本学大学院においては、現役のみならず社会人が在職のまま修学できる途を開いており、専修学校専門課程の修了者も、入学資格審査により出願が可能です。学生の必要に応じて、夜間や土曜日に開講するほか、夏期・冬期の休業期間中に集中講義を行っております。



キャンパスは山形市の北部（山形市上柳）に位置し、周囲には「健康の森公園」があり、静穏な環境で教育が行われております。本学理学療法学科では、理学療法士として必要な高い治療技術を身につけるべく技術教育と、理学療法を科学として確立させていく視点を養う教育に力を注いでおり、21世紀における科学としての理学療法の発展を担う人材の育成に取り組んでおります。理学療法の対象は、急性期医療から、在宅医療、健康増進やスポーツ領域に渡るさまざまな分野が含まれます。本学では1学部3学科の特徴を生かし、お互いの職種の役割を理解し、保健・医療・福祉の現場で連携、協調できる人材の育成に取り組んでおります。また本学では、コロラド大学理学療法学科との交流を中心として、国際交流にも力を入れております。「山形から世界へ」との思いを胸に、教員、学生ともども努力を重ねたいと思っております。



厚生労働省指定養成施設 学校法人 諏訪学園

## 山形医療技術専門学校

Yamagata College of Medical & Sciences



### 【学校紹介】

本校は理学療法学科、作業療法学科を有する4年制の専門学校です。平成7年に開校し現在までに400名を超える理学療法士を輩出しており、県内の病院、施設等に多くの卒業生が勤務し活躍しております。

### 学校見学について

本校では連絡をいただければ、随時学校見学が可能です。

会場： 山形医療技術専門学校

内容： 学校の特色や入試についての説明、校内見学（実習室など）、質問コーナー

対象： 受験生だけでなく 高校1・2年生、先生方、保護者の方も参加できます。

また、7・8月にはオープンキャンパスを実施しております。

### 募集

学 科： 医療専門課程 理学療法学科 40名

修業年限： 修業年限 4年間（昼間）

選抜方法： ・推薦選抜（公募・自己）  
・社会人選抜（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）  
・一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）

◎もっと詳しく知りたい方はお気軽に学校までご連絡下さい。

【連絡先】

学校法人諏訪学園 山形医療技術専門学校

〒990-2352 山形県山形市大字前明石字水367番地

TEL(023)645-1123 FAX(023)645-1250

ホームページ <http://www.ymisn.ac.jp/>



福祉機器・介護用品販売レンタル/車いすオーダー制作

**a (有)アシスト**

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4  
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454  
E-mail:assist@corp.email.ne.jp

医療機器・福祉用具販売レンタル

**株式会社 トーク**

TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

日医器連通正事業所 第9406017号 〒997-0806  
福祉用具貸与事業所 0670700434 山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2  
E-mail:took@coral.ocn.ne.jp TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>

**株式会社 タマツ**

TAMATSU

本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)  
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

義肢・装具・車いす  
他整形医療器具製造・販売

**(有)エムサポート**

〒990-2212 山形市上柳110  
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812  
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

快適な介護をまごころでお手伝いします。

さわやかな在宅療養をサポートするサービスシステム。  
お客様のニーズに合わせて「レンタル・販売」2つのシステムでお手伝いします。

**レンタル商品**  
●療養ベッド  
●車椅子・ポータブル浴槽  
●エアマット、etc.  
※詳しい資料をご希望の方はお気軽にご相談・お問い合わせください。

**販売商品**  
●紙おむつ・オムツカバー  
●尿器・ポータブルトイレ  
●その他介護用品

株式会社 蔵王サブライズ  
山形市香澄町1-20-8 ☎(023)622-7123

明日への地域医療・高度医療に貢献する  
一信頼される技術とサービスを人へ社会へ地域へ

ライフテクノロジーを追求する

**株式会社 シバインテック**

本社 〒984-0015 仙台市若林区卸町二丁目11-3  
TEL 022(236)2311 (代表) FAX 022(236)2362  
・山形支店・庄内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ヘルスケアセンター・物流センター・メンテナンスセンター  
ホームページ：[www.shibaintech.co.jp](http://www.shibaintech.co.jp)

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を  
いただき、官公需適格組合証明を取得

**協同組合 生活住環境整備山形**

〒990-0805 山形市檀野前13-2  
TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

**山形小木医科器械株式会社**

山形市北町三丁目8番20号  
電話 (023) 681-3633 (代)

**安心と信頼**

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・  
(大型短前腕を含む)

・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・  
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士 安達 武雄  
山形市江保3丁目15-1 ☎(023)681-0456

**(有)安達ブレイス製作所**

医療の未来を見つめる総合商社

**岡崎医療株式会社**

■本 社 山形市あこや町三丁目4番3号  
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番  
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号  
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

医学書のことならお任せください

日本医書出版協会認定医学書専門店  
医学書、看護学書、医書、股

**株式会社 高陽堂書店**

山形市大町3-1-17 TEL: 023(631)8881 FAX: 023(632)1188  
<http://www.koyodo.com/> email: info@koyodo.com

厚生労働省  
山形県指  
定福祉法  
義肢製作所指定

**山形義肢研究所**

有限会社

— 営業品目 — 代表取締役 植松 茂夫  
義手・義足・コルセット・補装具 山形市飯田五丁目5番39号  
補助ステッキ・松葉杖・車いす 電話 (023) 632-5214  
整形医療器具

**編集後記**

こんにちは、山形県理学療法士会です。今回は6月に開かれます、山形県理学療法学会大会の公開講座の案内を掲載しております。興味のある方は是非米沢にいらしてください。お待ちしております。ボランティア活動報告も掲載しております。この広報誌を通じて、我々の活動を知っていただき、興味を持っていただければ幸いです。

三友堂リハビリセンター 島貫

■発行者/山形県理学療法士会 ■発行者/高橋 俊章 ■編集者/小松 裕和  
■広報部/三友堂リハビリセンター  
〒992-0057山形県米沢市成島町3丁目2番90号 TEL(0238)21-8100 FAX(0238)21-8119  
E-mail:rehabiri@rehab.sanyudo.or.jp

表紙：米沢市笹野一刀彫